

資料配布の場所・日時

1. 筑波研究学園都市記者会
2. 国土交通記者会
3. 国土交通省建設専門紙記者会
4. 北海道庁道政記者クラブ
5. 札幌市政記者クラブ
6. 北海道開発記者クラブ
7. (株)建設行政新聞社

日時：令和7年8月29日（14:00）



国立研究開発法人土木研究所
令和7年8月29日

デジタル地形データで道路沿いの災害危険箇所を効率的に 把握し、道路防災対策を後押し！

航空レーザ測量による高精度のデジタル地形データ（以下「高精度地形データ」）は、これまで樹木下でよく見えなかった災害危険箇所を効率的に把握し、防災対策を行うための強力なツールです。この高精度地形データを用いて道路沿いの斜面崩壊等による災害危険箇所を把握する「地形判読」の標準的な方法をとりました。この方法を活用することにより、計画段階における道路土工構造物の適切な配置計画や、管理段階における点検や対策を重点的に行うべき箇所の把握を従来よりも効率よく行うことができ、道路防災対策の効率化が期待されます。【高精度地形データに対応した道路斜面の地形判読手法に関する共同研究報告書】

ホームページに上記を含む「土木研究所資料」「共同研究報告書」を掲載しました

1. 掲載資料

○土木研究所資料 * 研究所において実施した調査、試験及び研究の成果又は調査、試験及び研究を進めていく上で必要な資料をまとめたものに係わる研究の成果をまとめたもの。

資料NO	タイトル	著者
4460	間隙水圧消散工法に関わる大型遠心模型実験と河川堤防の液状化対策手引き <設計計算例>	地質・地盤研究グループ 土質・振動チーム

○共同研究報告書 * 共同研究に係わる研究の成果をまとめたもの。

資料NO	タイトル	著者
607	連続繊維シート接着補強工の耐久性に関する研究	寒地保全技術研究グループ 耐寒材料チーム 他
608	グラウンドアンカー工および地山補強土工の凍上対策に関する研究	寒地基礎技術研究グループ 寒地地盤チーム 他
610	高精度地形データに対応した道路斜面の地形判読手法に関する共同研究報告書 -高精度地形データによる道路斜面の災害危険箇所抽出のための地形判読事例集-	地質・地盤研究グループ 地質チーム 他

611	道路橋の震後点検の効率化・高度化に向けた新技術の 利活用に関する共同研究	構造物メンテナンス 研究センター 他
612	北方沿岸海域における物理環境及び生物環境の再現計 算の精度向上に関する研究	寒地水圏研究グループ 水産土木チーム 他
613	自律施工技術基盤 OPERA を活用した機械土工の生産 性向上に関する共同研究報告 -第3報-	技術推進本部 先端技術チーム 他
614	吹雪障害の小型複合センサー開発に関する研究	寒地道路研究グループ 雪氷チーム 他

2. 掲載先 以下のウェブページから閲覧できます。

○土木研究所資料 URL : https://thesis.pwri.go.jp/public_kanko/100/2025/
○共同研究報告書 URL : https://thesis.pwri.go.jp/public_kanko/110/2025/

【問合せ先】	国立研究開発法人土木研究所	企画部業務課	課 長	かなざわ	てつや
				金澤	哲也
			主 査	かたおか	たかゆき
				片岡	貴之
			電話番号	029-879-6754	